

令和2年度 施政方針

●はじめに

本年は、市制50周年の年であります。50年前の1970年12月1日に人口4万人余で市制を施行して以来、先人の弛まぬご努力のおかげで着実に知立市政は前進をしております。人口も7万2千人を超えてきております。小中学校も5校から10校になり、図書館や福祉体育館、パティオ池鯉鮒など公共施設も順調に整備されてきました。

全国的には人口減少社会と言われていますが、これからも、『知立市に住みたい、住み続けたい』と多くの皆様方に評価していただけるまちづくりのため全力で市政に邁進してまいります。

知立に住む、知立に集う全ての方々、それぞれのお立場で、まちづくりに携わっていただくことで、第6次知立市総合計画が目指す『輝くまち みんなの知立』になっていくものと確信しております。

そして現在、様々な場面において、多くの皆さんが力を発揮され、ご活躍いただいております。



知立市長 林 郁夫

○市民参加のまちづくり

毎年、文化会館を会場とした、子どもから大人まで多くの皆さんに、夢や感動を提供している『ちりゅうこどもフェスティバル』や、新地公園での『ドリーム・イルミネーション』、また、『まちの科学館』設置を目指す市民団体が主催する『まちのふれあい科学館』なども、まさに、市民の皆様方のお力で、『わがまち知立』を大いに盛り上げ、発信していただいているところであります。

また、現在、市内8会場で開催されている毎朝のラジオ体操や、26箇所で開催されている高齢者サロンも、市民有志の皆さんが運営してくださっており、防犯パトロールや、子どもたちの登下校におけるスクールガード、また、公園や道路の愛護会など、様々な分野において、市民が市民の手で主体的に、より住み良い知立づくりのためにご尽力していただいております。

○安全で安心できるまちづくり

本年は新たに高齢者安全運転支援装置設置補助事業を創設するなど、高齢者ドライバーによる交通事故防止を図ってまいります。

防災対策については新たに、国土強靱化地域計画を作成していく他、洪水ハザードマップの見直しをしてまいります。

また、業務継続計画（BCP）をもとに、更に、訓練や検証を行うべく、引き続き、本年度も、名古屋大学減災連携研究センターへ職員派遣を行うなどし、防災に関する研鑽を積んでまいります。

○子ども・子育て支援に関する取組み

ICT教育推進のための環境整備を着実に進めてまいります。

また、ひとり親家庭の自立支援事業についての予算や、待機児童対策などの一環として、令和3年度開設に向け新

たな民間保育園整備のための予算なども計上している他、障がいを持った子ども達の療育施設ともなります児童発達支援センターを、本年4月に中央子育て支援センター内に『ひまわり園』として開設してまいります。

○福祉に関する取組み

障がい者相談支援員などにより丁寧な相談体制づくりに努めると共に、引き続き、成年後見制度を運営してまいります。

一方、高齢社会に向けての取組みとして現在福祉の里・社会福祉協議会内にある地域包括支援センターを、新たに、知立老人保健施設内にも設置させていただく他、75歳以上の皆様方へのミバス運賃の無料化制度など外出支援策も引き続き講じてまいります。

○環境に関する取組み

『ごみ出しガイドブック』や、『ごみ出しガイドブック外国語版』などでの啓発のほか、不法投棄多発地区には、防犯カメラを随時設置してまいります。

また、環境施策につきましては、本年度も、太陽光発電・太陽熱利用システムなどへの設置費補助を行うべく、他、市役所庁舎や中央公民館や文化会館の電気をLED灯に変えるべく、国からの補助を受け『カーボン・マネジメント強化事業』を行うなどしながら、CO₂削減のための環境づくりに取り組んでまいります。

○健康に関する取組み

健康であることは、全ての市民の願いであります。

引き続き、妊産婦・乳幼児健診事業、がん検診推進事業、インフルエンザや高齢者肺炎球菌のワクチン接種事業を実施していく他、本年度、新たに、『ロタウイルスワクチン定期予防接種事業』や『新生児聴覚検査助成事業』を実施してまいります。

○まちの活力づくり

100年に度のまちづくりとして進めていきます知立駅周辺整備事業を本年も着実に進めてまいります。

また、蔵福寺地区などの土地区画整理事業の推進と、併せて、再開発事業として西新地地区の再開発事業も引き続き推進していく他、雇用確保などの視点から、企業誘致を推進してまいります。

さらに、まちの活力創出として、信用保証料の助成や利子補給事業、若手後継者育成のための支援や新規創業事業補助の他、中小企業再投資促進事業として2億6千万円程計上するなどし、地域を支えてくださっている市内企業を支援してまいります。

○より効率的、効果的な行政運営

また、ネーミングライツ制度の導入を図るなどし、税以外の財源確保についても引き続き努めてまいります。

その他、AI総合案内サービス事業やAI-OCR事業の活用など、新たな手段を活用しての市民サービスの検討も進めてまいります。

○おわりに

本年も、5つの知立市職員の誓い、すなわち、『明るい挨拶をする』、『笑顔で丁寧に対応をする』、『心を込めたサービスを提供する』、『税金を大切に使う』、『信頼される職員を目指す』を、私も職員一同、しっかりと遵守してまいります。

本年は、市制施行50周年を迎えます。ここ知立市から、新しい価値を発信すべく、また、市民協働の力を更に強固にすべく、様々な諸事業を市民の皆様方と共に進めていく所存であります。『知立市に住みたい』、『住み続けた』と、多くの皆様方に評価していただけるまちをつくるため、私も職員、全力を尽くして市政に邁進していきます。

